



s979w

ドライブレコーダー  
取扱説明書

## 目次

本書について .....	3
取付注意事項 .....	3
設置における注意事項 .....	3
規制の通知 .....	3
CE 規制の通知 .....	3
WEEE 指令 .....	4
取付における注意事項 .....	4
<b>1. はじめに.....</b>	<b>7</b>
<b>1.1  特長.....</b>	<b>7</b>
<b>1.2  梱包内容 .....</b>	<b>7</b>
<b>1.3  製品の概要.....</b>	<b>8</b>
<b>2.  ご使用の準備.....</b>	<b>10</b>
<b>2.1  microSD カードの挿入.....</b>	<b>10</b>
<b>2.2  取付について .....</b>	<b>11</b>
<b>2.3  電源接続 .....</b>	<b>11</b>
<b>設定について(駐車モード時に作動します).....</b>	<b>12</b>
<b>設定のための本体部について .....</b>	<b>12</b>
<b>設定方法.....</b>	<b>13</b>
<b>動作確認.....</b>	<b>14</b>
<b>2.4  電源オン/オフ/リセット .....</b>	<b>15</b>
2.4.1  自動オン/オフ .....	15
2.4.2  手動オン/オフ .....	15
2.4.3  リセット .....	16
<b>2.5  初期設定 .....</b>	<b>16</b>
2.5.1  日時の設定.....	16
<b>2.6  初期設定 .....</b>	<b>17</b>
2.6.1  日時の設定.....	17

3.	ドライブレコーダーの使用.....	18
3.1	録画.....	18
3.1.1	自動録画.....	18
3.1.2	録画面面.....	19
3.1.3	イベント録画.....	21
3.2	GPS.....	22
3.3	リアカメラ.....	22
3.4	ファイルの再生と削除.....	23
3.5	駐車モード.....	24
3.6	ヘッドアップディスプレイについて.....	25
4.	Go Moto Plus App の設定.....	26
4.1	App をインストール.....	26
4.2	Wi-Fi 接続.....	27
5.	Go Moto Plus App の使用.....	28
5.1	メイン画面の説明.....	29
5.2	ファイルの再生、削除及びダウンロード.....	31
5.3	ローカルのフォトアルバムを表示する.....	34
5.3.1	編集.....	36
5.4	ドライブレコーダーの設定手順.....	36
6.	OTA ファームウェア更新.....	37
7.	設定画面.....	41
8.	規格.....	44

## 本書について

本書の内容は情報の記載を目的としており、予告なく変更することがあります。当社ではこのユーザーガイドの正確性には万全を期していますが、情報の内容に一切誤りや欠落がないという保証はありません。メーカーは技術仕様を予告なく変更する権利を保有しています。

## 取付注意事項

1. 車両の走行中や移動中にドライブレコーダーをセットしないでください。調整や取り付けは安全な場所に停止してから行ってください。
2. 最も広い視野を得るためにドライブレコーダーをルームミラーに取り付けてください。ドライブレコーダーを運転者の視界を妨げる場所に設置しないでください。
3. 雨天時にクリアな視界を確保するために、レンズがワイパーの拭き取り範囲内にあることを確認してください。
4. 本機は、製品に付属の電源コネクタにのみ適合します。本機の焼損を避けるため、他のブランドのものを使用しないでください。

## 設置における注意事項

この装置とアンテナは、他のアンテナや送信機と同一場所に設置したり、一緒に操作したりしないでください。

## 規制の通知

このユーザーガイドでは、本製品のために国/地域固有の非無線およびワイヤレスの規制に関する通知やコンプライアンス情報を提供致します。これらの通知の一部は、お客様の製品に適用されない場合があります。

## CE 規制の通知

本製品は、バッテリー指令2013/56/EU、無線機器指令2014/53/EU、および有害物質使用制限指令2011/65/EUで求められる要求事項に適合してお

ります。EU健康保護:本装置は、取り付ける際または作動させる際にラジエーターと人体の間を最低20cm離す必要があります。

## WEEE 指令

### EUの個人の家庭におけるユーザーによる電気および電子機器またはバッテリー廃棄物の廃棄



WEEE

製品または梱包物にあるこのマークは、家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。電気および電子機器またはバッテリーのリサイクルのため、装置またはバッテリーのごみは適切な引き取り組織に引き渡して廃棄しなければなりません。本製品またはバッテリーのリサイクルの詳細情報については、お住まいの市区町村役場、本製品を購入した販売店、またはお近くの家庭ごみ廃棄サービスにお問い合わせください。材料のリサイクルは天然資源の保護に繋がります、人間の健康および環境を守ります。

## 取付における注意事項

- ❖ ユーザーは現地の法律を遵守し、安全運転を優先し、運転中に本装置を操作しないでください。
- ❖ デバイスを使用する前にタイムゾーン、日付、時刻が設定されていることを確認してください。
- ❖ 本機に内蔵されているファームウェア機能はユーザーの参考用であり、道路を走行する際は実際の道路状況に基づいて判断してください。
- ❖ GPS 測位結果はユーザーの参考のみを目的としており、実際の運転動作には影響しません。このデバイスは測位の精度を保証できません。
- ❖ GPS の測位精度は、天候や使用場所（高層ビル/トンネル/地下/森林）などの影響を受けるなど変動する可能性があり、GPS 信号は金属成分を含む建物や自動車の絶縁紙を透過できません。
- ❖ GPS の受信品質は個々のハードウェアの特性により異なるため、ハードウェアの違いによる測位結果の違いを本機では判断できません。

- ❖ このデバイスによって表示される速度と方向には外部環境要因による誤差があり、ユーザーの参考のみを目的としています。
- ❖ この製品は、適用される法律で許可される最大限の範囲で、非商業的使用のみを目的としています。本製品の使用により生じた損失については、当社は一切の責任を負いません。
- ❖ Wi-Fi 信号は建物を通過できず、最大信号距離は5メートルです。
- ❖ Wi-Fi動作チャンネルテーブル: Ch1~Ch11。
- ❖ 本製品は無線データ通信を使用するため、周囲の機器と干渉したり、干渉を受ける可能性があります。
- ❖ 電子レンジの近くなど、磁気や電波障害が発生する場所で本製品を使用しないでください。
- ❖ 状況によっては電波の受信状態が悪くなる場合があります。
- ❖ 本製品が使用する2.4GHZ周波数帯を他の機器も使用している場合、双方の機器の処理速度が遅くなる場合がありますのでご注意ください。
- ❖ 使用中、本製品は若干熱くなりますが、異常ではありません。
- ❖ 本製品を誤って使用したり、不適切な操作により機器や付属品が損傷した場合、保証は無効になります。
- ❖ 本製品の無線周波数は、他の電子機器が発する無線周波数と干渉し、悪影響を及ぼし、誤動作状態を引き起こす可能性があります。ワイヤレス送信機および回路も他の電子機器に干渉する可能性があるため、次の注意事項に従ってください。
  - 飛行機：飛行機内では無線送信機の使用が禁止されておりますので、本製品のWi-Fi機能をOFFにしてください。
  - 車両：この製品から放射される無線周波数は、自動車の電子システムに影響を与える可能性があります。車両の問題については、自動車のメーカーまたは代理店にお問い合わせください。
  - 心拍リズムレギュレーター：心拍リズムレギュレーターとの潜在的な干渉を避けるため、心拍リズムレギュレーターを装着している人は、デバイスの作動時にこの製品と心拍リズムレギュレーターとの間の距離を15cm(6インチ)以上に維持する必要があることに注意してください。

い。また、本製品を胸ポケットに入れないでください。干渉が疑われる場合は、すぐに本製品の電源を切ってください。

- 医療機器: 個人用医療機器を使用している場合は、機器の製造元または医師に問い合わせ、お使いの機器がこの製品から放射される無線周波数から適切にシールドされているかどうかを確認してください。
- 医療施設: 病院および医療施設では、外部の無線周波数エネルギーに敏感な機器を使用する場合があります。医療従事者または掲示された標識から、無線周波数に干渉する機器の電源を切るように指示された場合は、その指示に従ってください。
- 発破エリアおよび通知が掲示される場所: 発破作業の妨害を避けるため、「発破エリア」に標識を設置するか、「双方向通行禁止」の標識を設置してください。

HP Inc. は操作中のデータ/コンテンツの損失については責任を負いません。

本製品の利用を開始することで、上記の内容に同意したものと見なされます。

# 1. はじめに

この度は、本製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品は、運転中の映像・音声などを記録する車載装置(ドライブレコーダー)です。

## 1.1 特長

超高画質 1920\*1080

ソニーセンサー搭載

F 値 1.55

内蔵 Wi-Fi

内蔵スーパーキャパシタ

衝撃検知

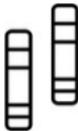
イベント録画

駐車モード(タイムラプス機能搭載)

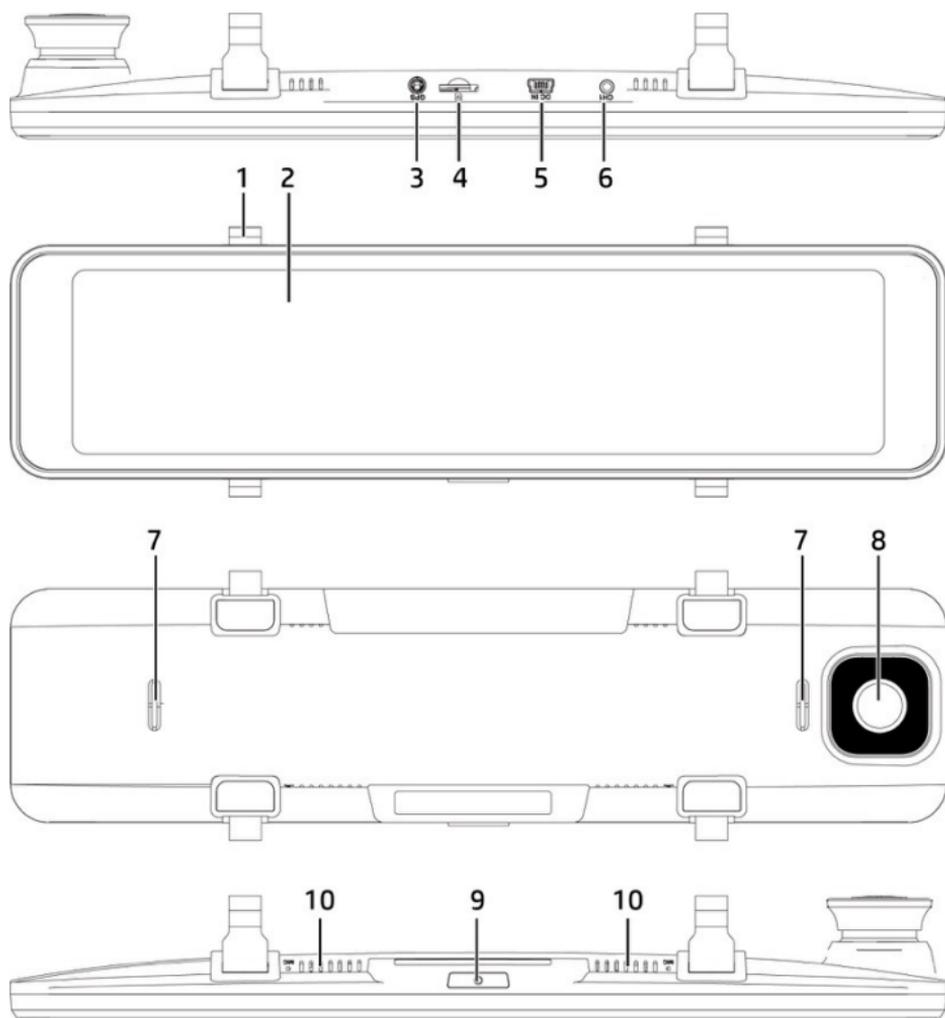
リアカメラ(後方)録画対応

## 1.2 梱包内容

梱包には次のアイテムが入っています。足りないもの、または破損したものがある場合は、ただちに販売店にご連絡ください。

ドライブレコーダー本体		バンド	常時電源ケーブル(c-501)
			
取扱説明書	外付け GPS	リアカメラ	
			

### 1.3 製品の概要

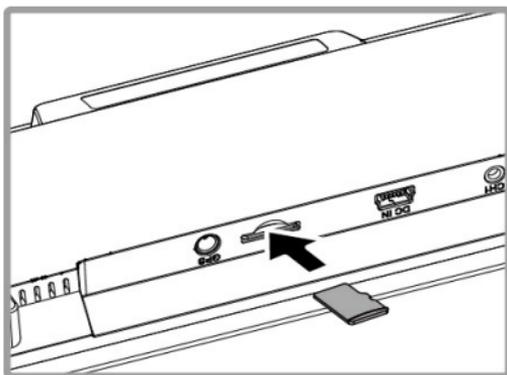


號碼	項目
1	バンドクリップ
2	液晶
3	GPS 接続コネクタ、GPS の接続
4	MicroSD メモリーカードスロット
5	USB 接続コネクタ(電源コード接続)
6	CH1 接続コネクタ リアカメラの接続
7	スピーカー
8	レンズ
9	電源ボタン/リセットボタン 短押し: 螢幕開關 長押し 3 秒: 手動電源オンオフ 長押し 8 秒: リセット
10	マイク

## 2. ご使用の準備

### 2.1 microSD カードの挿入

SD カードの金属端子面を本体背面に向けて挿入します。カチッと音がするまで差し込みます。(メモリーカードは V30 もしくはそれ以上の microSD カードを推奨します。初回のご使用は必ず SD カードを初期化してください。)



#### microSD カードの取り出し

SD カードをカチッと音がするまで奥まで押し込むと出てきます。

#### 注意：

1. メモリカードの損傷を避けるため、デバイスの電源が入っているときはメモリカードを抜き差ししないでください。
2. スピードクラス V30 以上、メモリ容量 16GB 以上のマイクロ SD メモリカードのみ使用できます。最大 128GB まで対応可能。
3. メモリーカードはご使用前に本機でフォーマットしてください。
4. メモリカードを定期的にフォーマットしてください(月に 1 回を推奨)。
5. 64GB 以上のメモリーカードを使用する場合は、まず本機でフォーマットしてください。
6. メモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込み速度の低下やストレージの故障が発生する可能性があります。その場合は新しいメモリーカードを購入して使用します。
7. 市場にはさまざまな仕様のメモリーカードがあり、品質もさまざまであるため当社の製品はすべてのメモリーカードが互換性があることを保証するものではありません。  
メモリーカードに異常があり、録画画像が保存できなくなった場合はドライブレコーダーとは直接関係ありませんので、メモリーカードメーカー購入店でカードを交換してください。

## 2.2 取付について

1. ルームミラーにセットします。



2. バンドを使用し、固定します。

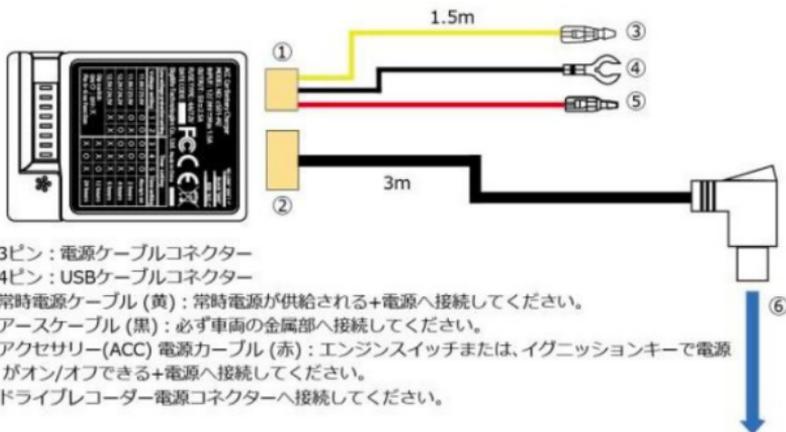


3. レンズの角度を調整します。

注意：上記の画像は参考図となります。

## 2.3 電源接続

ドライブレコーダーへの電力供給には、本製品同梱の電源ケーブル以外を使用しないでください。

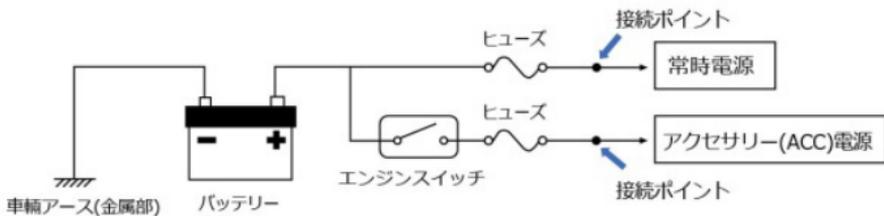


注意：本製品は製品に付属の電源コードのみ適しています。本体の焼損を避けるため、他のブランドのものを使用しないでください。

## ⚠ 注意



常時電源はバッテリーから直接電源を取りますが、車両ヒューズが接続された後の位置と接続してください。



接続後の端子はショートしないように、絶縁テープ等でテーピングして下さい。

## 設定について(駐車モード時に作動します)

本製品の電源ボックスに貼られている“設定ステッカー”で電源切断タイミングの設定を確認し、バッテリーへの負荷を考慮しながら、駐車モード(常時電源供給)の用途に合わせた電源供給時間を本体の“ディップスイッチ”で設定ができます。

### 設定のための本体部について

本製品の機能は、“設定ステッカー”を確認して、“ディップスイッチ”で設定をします。



設定ステッカー

- 1,2:電源切断電圧設定  
(Low voltage protection setting)
- 3,4,5:電源切断時間設定  
(Time setting)

ディップスイッチ

## 設定方法

■ディップスイッチのオン・オフは以下のとおりです。

※お間違えないように、注意して設定してください。

Low voltage protection setting		Time setting				
Voltage setting	1	2	3	4	5	Time setting
11.6V/23.6V	O	O	O	O	O	Always on
11.9V/23.9V	O	X	O	O	X	2 hours
12.2V/24.2V	X	O	O	X	X	4 hours
12.5V/24.5V	X	X	X	X	X	6 hours
Dip switch ON: O ; OFF: X Pin 6-8 no function			X	X	O	12 hours
			X	O	X	24 hours

※6~8 までのスイッチは使用しませんので、オフの状態になっていることを確認してください。 かならず、オフの位置に設定してください。



先端の細いペンなどで、スイッチを壊さないように注意して設定してください。

■初期設定：11.9V 2時間

初期設定では、バッテリー電圧が **11.9V 以下** となった場合、もしくは電源供給時間が **2 時間を経過**した場合に、本製品からドライブレコーダーへ電源供給を停止します。

この場合、ディップスイッチは設定ステッカーより、という設定となります。

ディップスイッチ 1：オン

ディップスイッチ 2：オフ

ディップスイッチ 3：オン

ディップスイッチ 4：オン

ディップスイッチ 5：オフ



※ディップスイッチ 6~8：オフ

■電源切断電圧の設定

電源切断電圧は、12V 車用、24V 車用でそれぞれ

**12V 車用**    **11.6V**    **11.9V**    **12.2V**    **12.5V**

**24V 車用**    **23.6V**    **23.9V**    **24.2V**    **24.5V**

に設定できます。

お車のバッテリーが設定された電圧値まで低下すると、約6分後に電源ボックスからの給電を停止し、インジケータLEDが赤点灯します。

給電停止時は、ドラレコの駐車モードは作動しません。

次回アクセサリ(ACC)電源がオンになるまで、給電停止を継続します。

設定ステッカーに記載されたディップスイッチを、ご希望の設定電圧となるようにオン・オフを切替えてください。

## ■電源供給時間の設定

駐車モード作動中のドライブレコーダーへ電源供給する時間を、

**常時 / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 12 時間 / 24 時間**

に設定できます。

お車のアクセサリ(ACC)電源がオフになってから設定された時間が経過すると、電源ボックスからの給電を停止し、ドライブレコーダーは電源オフとなります。

次回アクセサリ(ACC)電源がオンになるまで、給電停止を継続します。

設定ステッカーに記載されたディップスイッチを、ご希望の時間設定となるようにオン・オフを切替えてください。

※長い時間の電源供給は、バッテリーへの負担が大きくなります。

お客様の駐車時間とバッテリーの状態から、適切な時間を設定してください。

## 動作確認

接続・設定が終わりましたら、本製品とドライブレコーダーの動作を確認します。下記手順でご確認願います。

バッテリーのマイナスケールを接続してください。

お車のエンジンを始動し、ドライブレコーダーが自動的にオンとなり、通常録画が始まるかご確認ください。

※ドライブレコーダーの通常録画については、ドライブレコーダーに付属されたユーザーガイドをご覧ください。

本製品のインジケータLED が緑点灯しているかご確認ください。

※緑点灯：アクセサリ(ACC)電源がオンの状態で、電源を供給しています。

ドライブレコーダーの設定【駐車モード】より、パーキング録画 / 動体検知・衝撃検知 / タイムラプスのいずれかのモードをお選びください。

※ドライブレコーダーの【駐車モード】設定方法は、ドライブレコーダーに付属されたユーザーガイドをご覧ください。

ドライブレコーダーがオンの状態で、お車のエンジンをオフにし、キーを抜きます。

ドライブレコーダーの画面が消え、駐車モードとなります。

※ドライブレコーダーによっては、ドライブレコーダー画面に駐車モードとなる警告表示がされます。詳しくは、ドライブレコーダーに付属されたユーザーガイドをご覧ください。

□本製品のインジケータ-LED が緑点灯しているかご確認ください。

□ドライブレコーダーのインジケータ-LED 等で、駐車モード作動状態であるかご確認ください。

※詳しくは、ドライブレコーダーに付属されたユーザーガイドをご覧ください。

□再び、お車のエンジンを始動していただき、本製品のインジケータ-LED が緑点灯している、また、ドライブレコーダーが通常動作することをご確認ください。

※ドライブレコーダーの通常録画については、ドライブレコーダーに付属されたユーザーガイドをご覧ください。

以上で、動作確認は終了です。

■運転の妨げにならないように、配線をまとめ・電源ボックスを付属の両面テープで車内の操作可能な場所に固定します。

## 2.4 電源オン/オフ/リセット

### 2.4.1 自動オン/オフ

車のエンジンを始動し、数秒待つとドライブレコーダーが自動的に充電され、数秒後に自動的に電源がオンになり、録画が開始されます。

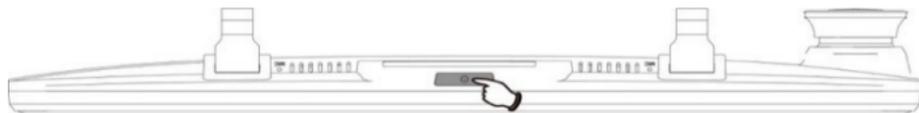
車のエンジンがオフになると、レコーダーは自動的にビデオを保存し、電源がオフになります。

注意：

1. カーチャージャーをシガーライタージャックに接続すると、レコーダーの電源が自動的にオン/オフになります。
2. このドライブレコーダーはスーパーキャパシタを使用しているため、車のエンジンを始動した後、内蔵のスーパーキャパシタが充電されるまで数秒待つ必要があり、数秒後、レコーダーは自動的にオンになり、録画を開始します。

### 2.4.2 手動オン/オフ

電源ボタンを 3 秒間長押しして、手動で電源をオンまたはオフにします。



## 2.4.3 リセット

電源ボタンを8秒間長押ししてリセットします。

## 2.5 初期設定

### 2.5.1 日時の設定

デバイスを使用する前に、正しい日付と時刻を設定することをお勧めします。次のように正しい日付と時刻を設定します。

1. 録音画面で画面をタッチして操作バーを表示させます。



2. アイコンをクリックし、メニュー画面に入ります。
3. 上下スライドし、[時間設定]に入ります。
4. [+][-]アイコンをタッチして値を変更し、設定が完了したら[OK]をタッチして確定します。
5. アイコン を押して録音画面に戻ります

## 2.6 初期設定

### 2.6.1 日時の設定

デバイスを使用する前に、正しい日付と時刻を設定することをお勧めします。次のように正しい日付と時刻を設定します。

1. 録音画面で画面をタッチして操作バーを表示させます。



6. アイコンをクリックし、メニュー画面に入ります。
7. 上下スライドし、[時間設定]に入ります。
8. [+][-]アイコンをタッチして値を変更し、設定が完了したら[OK]をタッチして確定します。
9. アイコン を押して録音画面に戻ります。

## 3. ドライブレコーダーの使用

### 3.1 録画

#### 3.1.1 自動録画

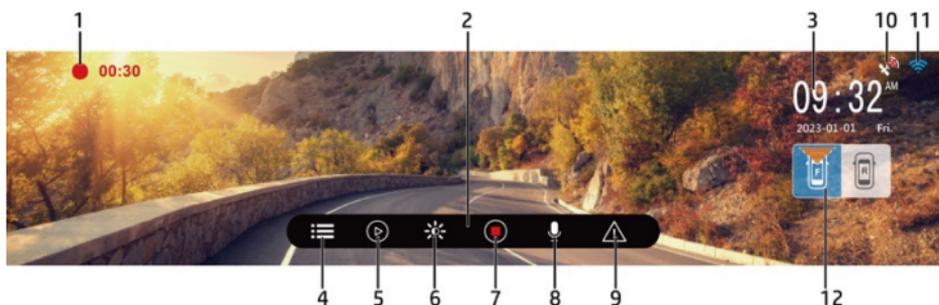
車のエンジンが始動すると、ドライブレコーダーが自動的に充電されるまで数秒待つと、数秒後に自動的に電源が入り、録画が開始されます。エンジンを切ると録音は自動的に停止します。



#### 注意：

1. 一部の車種ではシガーライター/電源コンセントがイグニッションシステムに接続されていないため、車の電源を切っても録画が継続されますがその際は手動でドライブレコーダーの電源を切る必要があります。
2. ループ録画は1分、2分、3分に設定できます。
3. ドライブレコーダーは通常のループ録画をメモリカードに保存します。メモリカードがいっぱいになるとメモリカード上の最も古いファイルが上書きされます。重要なファイルを定期的の確認し、バックアップしてください。
4. このドライブレコーダーはスーパーキャパシタを使用しているため、車のエンジンを始動した後、内蔵のスーパーキャパシタが充電されるまで数秒待つ必要があり、数秒後、レコーダーは自動的にオンになり、録画を開始します。

### 3.1.2 録画面面



番号	アイコン	項目	説明
1		録画時間	現在の録画時間を示します
2		操作バー	メニュー画面がメイン昨日の操作バー
3		日時と時間	現在の録画日時を示します
4		メニューボタン	メニュー一覧
5		再生	録画映像の再生
6		明るさ	液晶の明るさ設定
7		録画/ 録画停止	録画開始もしくは停止
8		音声記録	録音機能のオンオフ設定
9		緊急録画	録画中、こちらのボタンを押すと緊急録画モードに入り、データは緊急録画ファイルに保存されます

番号	アイコン	項目	説明
10		GPS状態	衛星測位状態を表示します。Xが表示されたら測位されていない事を示します。測位できている際は青いアイコンになります 
11		Wi-Fi	 Wi-Fi機能オン、未接続  Wi-Fi機能オン、接続済み  Wi-Fi機能オフ
12		プレビュー画面	F: フロントカメラ R: リアカメラ オプションのリアカメラを取り付けるとRのアイコンは白背景になり、選択すると該当画面が表示されます。表示されているとアイコンの背景は青色になります。

### 3.1.3 イベント録画

このデバイスには重力センサーが内蔵されています。衝突検出が有効になっている場合、デバイスが衝突を検出すると自動緊急録画がトリガーされます。画面に「現在のファイルをロックする」というプロンプトが表示され、上部に黄色の点が表示されます。左画面が点滅します。イベント録画モードで録画されたビデオはロックされ、通常のループ録画では上書きされません。

録画中に画面上の機能バーのアイコンをタッチすると、手動でイベント録画モードが有効になります。

イベント録画の時間は通常のループ録画と同じです。イベント録画が設定時間に達すると、システムは通常の録画モードに戻ります。



注意：

1. メニュー設定で衝突検知機能のオフ、低感度、中感度、高感度を選択できます。オフにすると、緊急録画は自動的に行われません。
2. 緊急録画ファイルは、通常のループ録画によって上書きされないように保護されたファイルとして保存されます。
3. 緊急録画フォルダーには、メモリカードの空き容量の約 20% が含まれます。緊急録画フォルダーがいっぱいになった場合、新しい緊急録画ファイルが作成されると、最も古い緊急録画ファイルが自動的に削除されます。定期的にチェックして重要なファイルをバックアップしてください。

## 3.2 GPS

オプションの GPS をドライブレコーダーの GPS コネクターに接続すると録画画面で速度や方向などの情報が表示され、音声案内も起動されます。



注意：

1. GPS 機能は特定のエリアに限定されています。詳細については販売店にお問い合わせください。
2. GPS 測位後、右上隅のアイコンが白から青に変わります。
3. 固定速度カメラのリマインダーは灰色の背景アイコン、ゾーン速度カメラのリマインダーは黄色の背景アイコン、違法駐車およびテクノロジー法執行カメラのリマインダーは青色の背景のアイコンです。
4. 違反および禁止ポイントのリマインダーは参考のみであり、100% 正確ではありません。ドライバーは道路規則に従って運転することをお勧めします。

## 3.3 リアカメラ

ドライブレコーダーの電源を切ってからオプションのリアレンズアクセサリをドライブレコーダーの CH1 コネクターに差し込み、取り付け完了後、車を再起動すると、前後デュアルレンズ録画機能が利用できるようになります。

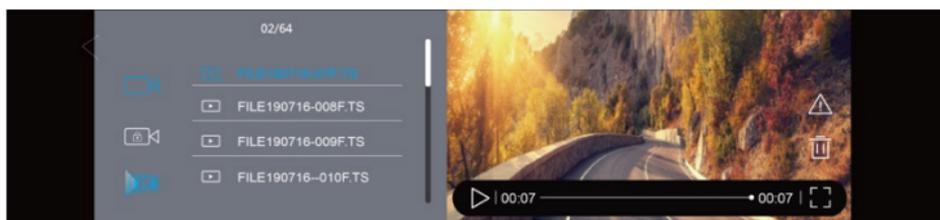


注意：

1. リアレンズはホットスワップに対応していません。リアレンズを挿入する前にデバイスの電源を切ってください。
2. タッチスクリーンの右下にある F/R 小さな四角をクリックして、フロント/リアカメラのプレビュー画面を切り替えます。

### 3.4 ファイルの再生と削除

録音画面で、画面を1回タップすると機能バーが表示され、機能バーのアイコン  をタッチすると録音が一時的に停止され、もう一度アイコン  をタッチするとファイルのプレイリストに入ります。指を上下にスライドさせてファイルを選択します。  アイコンをタッチすると、車のフロント/リアカメラで撮影したファイルリストが切り替わります。



ファイル再生画面で  /  をタップしてファイルをロック/ロック解除したり、ファイルを  再生 /  一時停止したり、 前  後のファイルを参照したり、 ファイルを削除したり、 ファイルプレイリストの前のページに戻ったりすることができます。



#### 注意：

1. 削除したファイルは復元できません。保存したいファイルを削除する前に、そのバックアップがあることを確認してください。
2. 2つのレンズを同時に使用して保存したファイルのうち1つだけを削除した場合、同時に記録したもう1つのレンズのファイルは削除されません。

## 3.5 駐車モード

駐車監視機能を有効にすると、駐車中の車両の状況をレコーダーで監視できます。

パーキングモードを作動させる前に専門店を通じてACC常時電源コード（または降圧コード）を取り付けてください。

次の手順で駐車監視機能をオンにします：

1. 録画画面で  アイコンをタッチして録画を一時停止し、 アイコンをタッチしてメニューに入ります。
2. 指をスライドして[駐車モード]を選択し、右側のスイッチアイコンをタップして「オン」を選択します。
3.  アイコンを押してビデオ録画画面に戻ります。
4. 車の電源を切ると、デバイスは自動的に駐車監視モードに入り、1秒1フレームのタイムラプスビデオの録画を開始します。
5. 駐車モードでは、車が外力を受けた場合、デバイスは緊急録画モードに入り、ファイルはロックされ、ループ録画によって上書きされません。

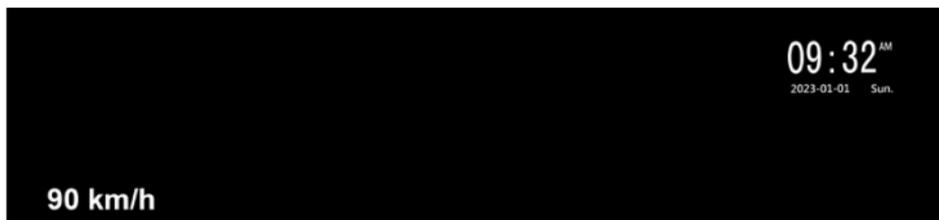
注意：

1. 本パッケージにはACC常時電源コードは付属しておりませんのでご購入希望の場合は販売店にお問い合わせください。取り付けが必要な場合も専門の取り付け店にご依頼ください。
2. 駐車モードファイルは一般ビデオフォルダーに保存されます。

### 3.6 ヘッドアップディスプレイについて

ヘッドアップディスプレイには現在の速度や日時が表示されます。ヘッドアップディスプレイモードでは、ビデオ録画やスピードカメラのリマインダーには影響しません。設定方法は以下の通りです。

1. 録画面面で  アイコンをタッチして録画を一時停止し、 アイコンをタッチしてメニューに入ります。
2. 指をスライドして [画面設定] を選択し、タップして入力し、[ヘッドアップディスプレイ] を選択します。
3.  アイコンを押してビデオ録画面に戻ります。約7秒後に自動的にヘッドアップディスプレイモードに入ります。



オプションの GPS が取り付けられている場合、速度カメラ設置ポイントを通過すると次のような画面プロンプトが表示されます：



この間、電源ボタンを押すと録画面面に戻ることができます。ビデオ録画モードでは7秒間操作がないと自動的に再びヘッドアップディスプレイモードになります。

注意：オプションの GPS が搭載されている場合、HUD モードで速度と距離を表示するには衛星測位が完了している状態にする必要があります。

## 4. Go Moto Plus App の設定

### 4.1 App をインストール

初めて使用する場合は、携帯電話に Go Moto Plus アプリをダウンロードしてインストールしてください。

以下の QR コードをスキャンするか、Google Play ストアまたは iOS App Store から Go Moto Plus を検索してダウンロードしてインストールします。



iOS/Android

アプリのバージョンによりインターフェースや機能が異なる場合がありますので Google Play ストアまたは iOS App Store からダウンロードした最新バージョンをご参照ください

## 4.2 Wi-Fi 接続

1. 録画面面で  アイコンをタッチして録画を一時停止し、もう一度  アイコンをタッチしてメニューに入ります。
2. 指をスライドして[Wi-Fiオン/オフ]を選択し、「オン」を選択します。
3. 画面の右下に Wi-Fi 識別コードとパスワードが表示されますので携帯電話の Wi-Fi 機能を使用してリストからドライブレコーダー識別コード hp\_s979w\_123456 を検索します(下 6 桁はランダムな識別コード)、デフォルトのパスワード 12345678 を入力します。



4. 画面右上の Wi-Fi マークが青色に変わり、ペアリングが完了し、接続が成功したことを示します。

### 注意：

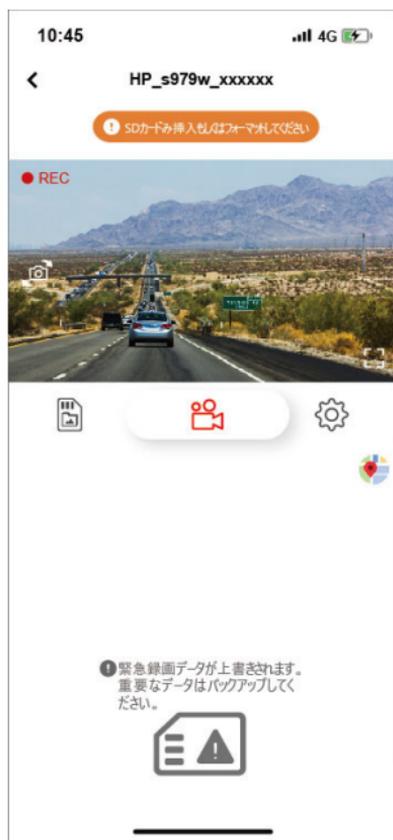
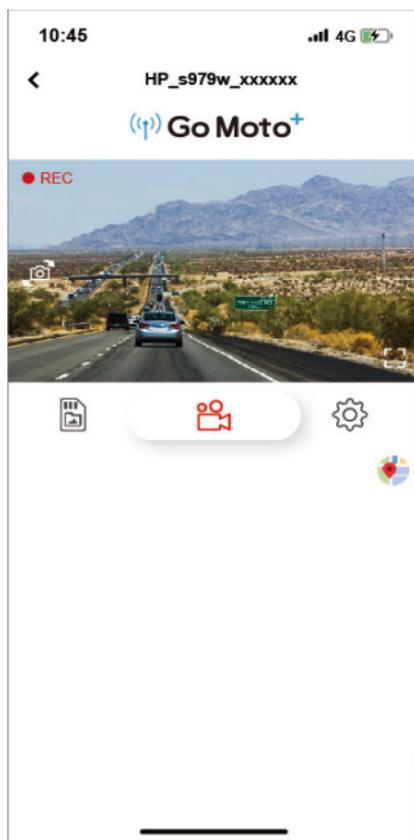
1. スマートフォンとデバイス間の接続は 5 メートル以内で、建物に障害物がない必要があります。
2. デバイスの Wi-Fi 機能がオンになっているときに、スマートフォンに接続されていない場合はデバイスの画面に白い Wi-Fi シンボルが表示されます。再度接続するにはスマートフォンの Wi-Fi を再度オンにしてペアリングしてください。
3. スマートフォンがデバイスに接続されたら [Go Moto Plus] アプリをクリックして開きます。デバイスのタッチスクリーン操作は無効になり、画面に「ネットワークストリーミング」と表示されます。[Go Moto Plus] アプリを通じて操作してください。
4. [Go Moto Plus] アプリの言語はスマートフォンと一致し、非内蔵言語がデフォルトになります。
5. アプリはオペレーティングシステムをサポートします: Android 9.0 以降、iOS 13 以降、Harmony 2 以降。

## 5. Go Moto Plus App の使用

スマートフォンの  「Go Moto Plus」アイコンをタッチするとアプリが開き、メイン画面が表示されるのでお好みに合わせて設定や操作を行うことができます。



## 5.1 メイン画面の説明



アイコン	説明
	Go Moto Plus logo / メモリーカードの表示
	プレビュー画面

	前後カメラのプレビュー画面の切替
	全画面表示
	録画開始/停止
	録画ファイル(microSDカード内のファイルを確認)
	機能設定
<p data-bbox="153 594 394 652">❗ 緊急録画データが上書きされます。重要なデータはバックアップしてください。</p> 	注意: microSD カード内の緊急録画フォルダーがいっぱいになり、古いファイルがループして上書きされます。重要なファイルをバックアップし、緊急録画フォルダーを手動でクリアしてください。このアイコンは表示されなくなります。
	地図表示

**注意:**

1. アプリを開くとデバイスは日付/時刻を携帯電話と自動的に同期します。
2. アプリのバージョンによりインターフェースや機能が異なる場合がありますので Google Play ストアまたは iOS App Store からダウンロードした最新バージョンをご参照ください。
3. Android スマートフォンの場合はまず Google オフライン マップをダウンロードしてください。まず Google マップを最新バージョンに更新し、Google マップ アプリケーションを開き、上のユーザー アバターをクリックして[オフラインエリア]をクリックし、[カスタマイズされたエリア]を選択してオフラインマップをダウンロードするエリアを選択し、「ダウンロード」を押してください。

## 5.2 ファイルの再生、削除及びダウンロード

この機能を使用して録画ファイルを再生または削除したり、スマートフォンにダウンロードしたりすることができます。



1. メイン画面で [ファイル] をタッチして、デバイスの microSD カード内のファイルを表示します。ファイルを表示するとデバイスは録画を一時停止します。
2. スマートフォンには本体の microSD カードに保存されているファイルリストのサムネイルが表示され、通常のループ録画と緊急録画の2つのファイル領域があります。サムネイルの右下に「前」または「後」のマークがあり、前レンズまたは後レンズから撮影されたことを示します。ビデオをクリックするだけで再生できます。





3. 削除またはダウンロードするには画面右上の「選択」をタッチし、必要なファイルをクリックし、下のアイコンをクリックしてファイルを削除またはダウンロードします。



アイコン	説明
	<p>ファイルをローカルフォトアルバムにダウンロードします。ダウンロードが成功すると[レコーダーファイル]のプレビューサムネイルに「ダウンロード済み」と表示されます。アプリの[ローカルフォトアルバム]にあるファイルをオフラインで開いて接続せずに閲覧することができます。</p>



microSD カード上のファイルを削除する。



ダウンロードが成功すると[レコーダーファイル]のプレビューサムネイルに「ダウンロード済み」と表示されます。

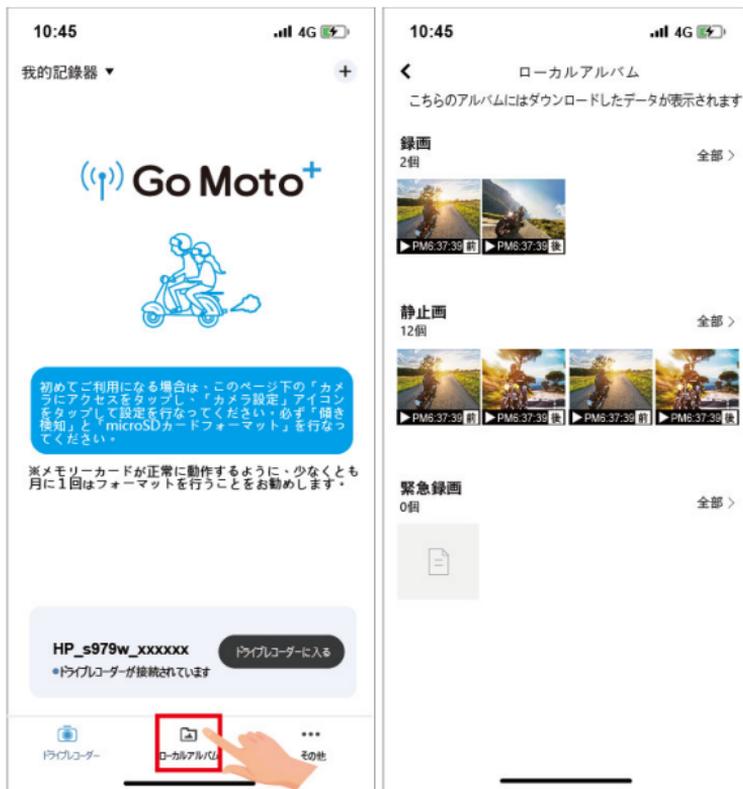
注意：

1. ビデオの再生時に音声再生できない場合は、設定で録音機能がオンになっているかどうかを確認してください。録音機能がオンになっている場合は、携帯電話がオーディオとビデオのデコードをサポートしていないことを意味します。完全なビデオを見たい場合は、ファイルを携帯電話にダウンロードし、VLCなどの他のビデオアプリを携帯電話にインストールして、ダウンロードしたビデオを再生してください。
2. 削除したファイルは復元できません。重要なファイルを削除する前に必ずバックアップを取っておくようにしてください。
3. 大量のビデオファイルをダウンロードまたは読み込むためメモリカードを取り外してコンピュータ経由で使用することをお勧めします。

## 5.3 ローカルのフォトアルバムを表示する

ファイルのダウンロードが完了するとデバイスの接続の有無に関わらず、アプリの[ローカルアルバム]でファイルを開いて閲覧することができます。

1. メイン画面下部の  [ローカルアルバム]をクリックします。(本体がアプリに接続されている場合、本体は録画を一時停止します。)



2. 再生したいビデオをクリックして再生、削除、または編集します。

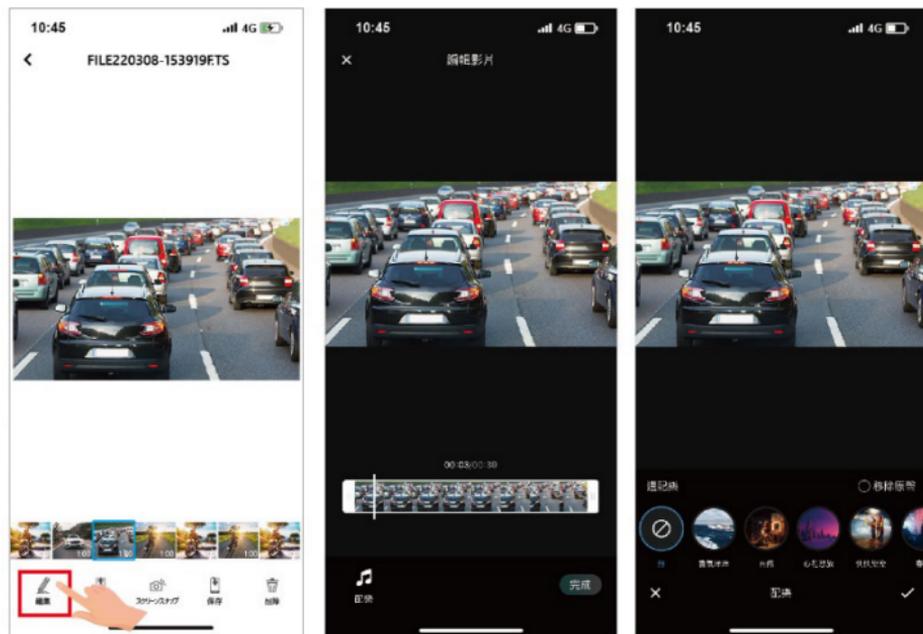


アイコン	説明
	録画を編集。(5.3.1説明を参照)
	ビデオを他アプリに共有できます。
	ビデオのスクリーンショット。。スクリーンショットファイルは「ローカルアルバム」に直接保存されます。
	ビデオは携帯電話のフォトアルバムに保存できます。保存が成功すると「システムアルバムに正常に保存しました」というプロンプトが画面に表示され、携帯電話のアルバムに「Go Moto Plus」フォルダが自動的に生成されます。
	アプリのローカル フォト アルバムに保存されているファイルを削除しますが、デバイスの microSD カード内のファイルには影響しません。

### 5.3.1 編集

アプリの[ローカルアルバム]でダウンロードしたファイルを開き、

下の  アイコンをクリックしてビデオを編集します。ビデオの元の音声  
を削除することができます。またはさまざまな BGM から選択してビデオ  
に挿入することもできます。



### 5.4 ドライブレコーダーの設定手順

この機能を使用するとアプリを通じてほとんどの本体の機能を設定できません。すべての本体の機能を設定するには本体画面の設定機能を使用してください。

1. アプリのメイン画面下部にある  [設定] をタッチします。本体は録画を一時停止します。
2. 個人のニーズや好みに応じて設定してください。

## 6. OTA ファームウェア更新

デバイスを Wi-Fi に接続し、Go Moto Plus アプリを開くと、メイン画面が表示された後、新しいバージョンのファームウェアがリリースされると次のようなポップアップウィンドウが表示されます。



アプリの説明画面に従って手順は次のとおりです。

1. [今すぐアップグレード] (注1) をクリックし、まずアップグレードファイル (新しいバージョンのファームウェア) を携帯電話にダウンロードします (注2)。(図1)

2. ダウンロードが完了するとアプリ画面に「アップグレードファイルがダウンロードされました」というメッセージが表示されます。携帯電話のWi-Fi がデバイスに接続されていることを確認し、右下隅にある [今すぐアップグレード] をクリックしてください。アップグレードファイルが携帯電話からデバイスに転送されます。

(図2)



図1



図2

3. ファイル転送が完了すると、アプリ画面に「送信しました」というメッセージが表示され、ファームウェアのアップデートのためデバイスが自動的に再起動され、アップデート完了後、デバイスは自動的にシャットダウンします。



4. デバイスの電源を手動でオンにするとデバイスは最新バージョンのファームウェアで動作します。

注意：

1. [後で通知する] をクリックすると次回デバイスを Wi-Fi に接続してアプリを開いたときに、新しいバージョンのファームウェアがダウンロードおよびアップグレードできることを通知するポップアップウィンドウが再度表示されます。

2. 携帯電話の Wi-Fi がデバイスによって占有されている場合、iOS システムは自動的にモバイル データに切り替わり、引き続き外部ネットワークを使用できますが Android システムは自動的にモバイル データに切り替わず、外部ネットワークは利用できなくなります。したがって、異なる携帯電話システムを使用してアップグレード ファイルをダウンロードする場合は次の 2 つの点に注意してください。

(1) iPhone ユーザー: 携帯電話の Wi-Fi がデバイスに接続されているため、iPhone はアップグレード ファイルのダウンロードにモバイル データ トラフィックを使用します。Wi-Fi 経由でファイルをダウンロードする場合は[今すぐアップグレード] をクリックする前に、デバイスの Wi-Fi を切断してから手動でローカルネットワークに接続し、アプリを開いて [今すぐアップグレード] をクリックしてアップグレードのダウンロードを開始します。ファイルを携帯電話に転送します。

(2) Android 携帯電話をご利用の場合: 携帯電話の Wi-Fi が接続されているため、Android 携帯電話ではアップグレード ファイルをダウンロードできません。まず Android スマートフォンを Wi-Fi から切断してからローカルネットワークに接続するか、Wi-Fi をオフにしてモバイル データを使用してください。アプリを再度開き、[今すぐアップグレード] をクリックして、携帯電話へのアップグレード ファイルのダウンロードを開始します。

## 7. 設定画面

録画画面で画面をタップすると機能バーが表示され、機能バーの  アイコンをタッチすると録画を一時停止します。

もう一度  アイコンをタッチしてメニュー設定に入ります。メニュー機能のオプションについては以下の表を参照してください。

項目	説明	選択肢
解像度	録画解像度の設定	1080P 720P
フロントカメラの明るさ設定	フロントカメラのEV設定	+3 ~ -3
リアカメラの明るさ設定	リアカメラのEV設定	+3 ~ -3
Wi-Fi	Wi-Fi接続のオンオフ設定	オフ / オン
録画ファイル時間	録画データの保存単位	1分 / 2分 / 3分
録音機能	録画時音声収録	オフ / オン
駐車モード	車のエンジンを切った後も録画を継続するかどうか。有効にすると、ビデオは1秒あたり1ビート記録されます。 ※専用常時電源ケーブルを取り付けてください。	オフ / オン
長時間運転アラート	長時間運転アラートがオンになっている場合、本体は電源を入れてから1時間警告音と警告画面を表示、その後30分ごとに警告を繰り返します。	オフ / オン
操作音	操作音の設定	オフ / オン
時間帯設定	標準時間帯の設定	GMT -12 ~ GMT +12
日時	日時の設定	
言語	言語設定	

項目	説明	選択肢
周波数	家庭用電源の仕様は地域によって異なりますので、各国の電圧・周波数表を参照して設定することをお勧めします。正しい周波数を設定すると表示のちらつきを防ぐことができます。	50Hz / 60Hz
液晶設定	画面またはヘッドアップディスプレイがオフになるまでの時間を設定します。 ヘッドアップディスプレイを設定する場合、電話機の電源を入れたときにプレビュー画面が表示されてから約7秒後に自動的にこのモードに入ります。この間、電源ボタンを押すとプレビュー画面に戻ることができます(録画は行われません)ヘッドアップディスプレイ使用時には影響を受けます)。 7秒または1分間オフに設定すると、スタンバイまたは録画中に設定した時間操作がない場合、デバイスは一時的に画面を消し、電源ボタンを押すと画面がオンになります(録画中に影響はありません)画面がオフになります)。	常時オン / 7秒後オフ / 1分後オフ / ヘッドアップディスプレイ表示
Gセンサー	有効にすると、デバイスが衝突を感知するとデバイスは自動的に緊急録画を開始します。	オフ / 低感度 / 標準感度 / 高感度
音量	音量の設定	1~10
スピードカメラアラート (注1)	オプションのGPSを接続した後、この機能が一時的に必要な場合は、このメニューで機能をオフにすることができます。	オフ / オン
GPS音声案内 (注1)	スピードカメラの音声案内を有効または無効にします。	オフ / オン

項目	説明	選択肢
	<p>※GPS音声案内を消している場合、液晶設定が「ヘッドアップディスプレイ」に設定されている場合、スピードカメラのポイントに遭遇した場合、画面に警告画面が表示されます。液晶設定が「7秒後にオフ」または「1分後にオフ」の場合、警告画面は表示されません。</p>	
車速透かし(注1)	<p>オプションのGPSを接続すると、ビデオに車速の透かしを入れることができますが、この機能が不要な場合はオフにすることもできます。</p>	オフ / オン
設定初期化	<p>全ての設定が出荷時に戻ります</p>	はい/ いいえ
SDカード初期化	<p>メモリーカードの初期化</p>	はい/ いいえ
ファームウェアバージョン	<p>現在のファームウェアのバージョンを示します。</p>	
<p>注 1: GPS 機能にはオプションのGPS アクセサリが必要ですが、ファームウェアはこれらのオプションを自動的に検出して表示します。</p>		

## 8. 規格

項目	説明
撮影素子	1/2.8" SONY's Starvis CMOS センサー
有効画素数	1920 (H) x 1080 (V)
記録媒体	V30以上、容量16GB 以上のmicro SDカードを推奨
液晶	11.26" TFT LCD カラータッチパネル
レンズ	広角固定レンズ
焦点範囲	1.5m ~ 無限
映像解像度	フロントカメラ 1920 x 1080P 27.5 fps 1280 x 720P 27.5 fps リアカメラ 1920 x 1080P 25 fps
録画ファイル形式	.TS
重力感知器	内蔵 3-AxisG-Force センサー
GPS	外付けGPS
Wi-Fi	内蔵
マイク	内蔵
スピーカー	内蔵
端子	Mini USB, CH1(リアカメラ), GPS
電源	内蔵スーパーキャパシタ
作動温度	0° ~ 45° C
作動湿度	20 ~ 70% RH
保管温度	-20° ~ 70° C

項目	説明
対応端末	Android 9.0以上 iOS 13 以上 Harmony 2 以上
寸法	291 x 74 x 39.2 毫米
重量	約 392 g (メモリーカード含まず)

内蔵IEEE 802.11g/n(HT20) Wi-Fiチップ: RTL8188FTV

Wi-Fi 周波数	2412~2462MHz
Wi-Fi 操作チャンネル	Ch1~Ch11